

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	8		法律で定められた定員を受け入れており、国の定めた基準以上の広さを確保し、児童の特性に応じて適切に配置・利用しております。	
	2	8		国の定める配置基準では、事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置、児童10名までに職員2名を配置、それ以上の児童が利用する際には、児童5名につき職員を1名ずつ増員するというものになっており、その基準を厳守しております。	
	3	8		児童が視覚的にもわかりやすいような環境作りを心掛けております。児童が移動する際には職員が一斉に行動して、安全に配慮しています。	
	4	8		児童の活動に合わせた空間づくりをおこない、毎日、清掃と教材や玩具の消毒、故障箇所などがないか確認をしながらおこなっています。また、大きな物や高さがある物を教室内に置かないようにしています。	
	5	8		児童の様子に合わせて安心して過ごせる環境を整え、安全に配慮した空間の確保をしております。	
業務改善	6	8		その日勤務の職員が揃う時間に業務連絡と、児童発達支援管理責任者を中心に保育内容の確認などの話し合いの場を設けております。また、定期的に会議を実施し、支援の改善点、療育の計画など職員が情報を共有できるように努めております。	
	7	8		評価表を集計し、職員全体で向き合い、振り返りをおこなうことで業務改善につなげています。評価にあるご意見やご要望などについては、どう改善していくかを職員間で話し合い、内容を共有し取り組めるようにしております。	
	8	8		毎日のミーティングで確認をおこない、当日の担当や一日の流れ、役割分担について確認しております。	
	9	8		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者からの評価受審については、今後の課題として検討していきます。
	10	8		年間計画を立、資質向上の機会が確保されています。	
適切な支援の提供	11	8		支援プログラムを作成し、令和7年度に向けた公開準備をしております。	支援プログラムを作成し、令和7年度に向けた公開準備をしております。
	12	8		面談では社内共通様式で標準化されたアセスメントツールを活用して、児童の意思表示の方法や身辺自立の状況、言葉や文字、数への理解などを細かくヒアリングし、保護者様のご要望を反映させながら放課後等デイサービス支援計画を作成しています。	
	13	8		保護者様からうかがった内容や事業所での様子をもとに、児童発達支援管理責任者が作成した計画を職員間で情報共有し、全職員で話し合っておこなっています。	
	14	8		計画に沿った支援をおこなえるように会議にて活動の内容を決定し、全ての職員で情報を共有して、支援計画に基づく支援をおこなっています。	
	15	8		社内共通様式で標準化されたアセスメントツールを活用しています。ツールには児童の意思表示の方法や身辺自立の状況、言葉や文字、数への理解などを細かく記載できるようにしております。	
	16	8		児童発達支援管理責任者が中心となって児童の現状に合った支援計画を作成し、都度見直しをおこなっています。また関係機関との連携を図り、児童の現状と今後の課題に沿った計画を作成しております。	
	17	8		個別支援会議の中で意見交換をおこない、療育で取り組む課題を設定して計画を立てています。	
	18	8		固定プログラムのほか、季節の行事等を工夫をして、個別と集団を組み合わせた活動を楽しく活動できるようにしております。	
	19	8		個別療育で言葉の獲得や、気持ちの伝え方等個々の課題の学びの場を持つようにし、集団活動の中でそれを活かして表現できるように見守っています。また職員が関わりの仲介に入って個別と集団を組み合わせられる工夫を随時おこなっております。	
	20	8		毎日ミーティングをおこない、当日の担当や役割分担について対応を確認し、情報を共有をしています。	
関係機関や保護者様との連携	21	8		次の支援のために必要な振り返りに漏れがないように「児童について」「保護者様について」「学校連携について」等、情報共有に努めています。	
	22	8		支援に対する記録は療育の担当者が必ずおこない、切れ目のない継続的な支援に役立てています。記録は話し合っ支援計画会議などで活用し、職員で話し合っ課題や目標設定にも活用しています。	
	23	8		定期的にモニタリングをおこない、計画の見直しを判断しています。児童発達支援管理責任者が支援計画の見直しの時期を把握し、時期に合わせて、面談で聞き取りをおこない、次回目標設定を検討しております。	
	24	8		個別療育で言葉の獲得や、気持ちの伝え方等個々の課題に取り組んでおります。小集団の活動でそれを活かして表現できるように見守っております。また、職員が関わりの仲介に入って個別と集団を組み合わせられる工夫を随時おこなっております。	
	25	8		児童が自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っています。	
	26	8		対象児童について職員間で話し合い、児童発達支援管理責任者が中心となり、担当者会議など関係機関との連携をしています。	
	27	7	1	現在は医療的ケアが必要な児童は在籍しておりませんが、協力医療機関や障害福祉、保健、教育等の関係機関との連携はケース会議及び家族支援等によりおこなっております。	引き続き、個人情報に留意しながら関係機関と連携してまいります。情報共有、共通理解に努め、丁寧な時間をかけた支援をおこなってまいります。
	28	7	1	保護者様を通して学校と連携し、相互理解を持つように努めています。	
	29	7	1	保護者様に確認を取った上で、担当者会議などを通じて情報提供・共有をおこなっています。引き続き児童の通っている関係機関への訪問等直接的な情報交換が出来るように努めてまいります。	引き続き児童の通っている関係機関への訪問等、直接的な情報交換ができるように努めてまいります。
	30	5	3	関係機関が集まり担当者会議をおこない、スムーズに移行できるように努めております。	関係機関が集まり担当者会議を行い、スムーズに移行できるように努めてまいります。
31	5	3	児童の療育に際して必要に応じて、地域の事業所（療育センター）と連携し、助言を受けるなどしています。	必要に応じた助言等をいただけるように、ZOOM研修等も活用しながら、より円滑なコミュニケーションを目指してまいります。	
32	8		発達障害の児童は小学校や学童などで、個々に外部との交流はできていると考えます。感染症や社会情勢を鑑みながら検討をしておりますが、事業所主催の交流の機会を企画しております。	現在は交流の機会を設けておりませんが、今後検討してまいります。	
33	2	6	地域の連絡会は参加しています。	地域の協議会は参加しておりますが、地域との情報共有や連携をとるために、より積極的に参加を検討してまいります。	
34	8		ご利用の度に、連絡帳に療育内容を記入してお伝えしています。また、送迎時に保護者様からのお悩みをお聞きしたり、事業所での様子や課題についてお話をしています。		
35	8		送迎などの際に保護者様のお悩みやお困りごとをお聞きし、具体的な助言や効果的な支援方法などをお伝えできるように努めています。また療育上必要でご家庭での協力を仰ぎたいものはご提案し、可能な範囲で取り組んでまいります。		
保護者様への説明責任等	36	8		契約時に運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされています。また、質問やご不明な点がございましたら、随時ご説明いたします。	
	37	8		個別支援計画の作成時には保護者様とアセスメントをおこない、ご意向の確認やお困り事についてお話をうかがっております。また児童には、療育中に自分の夢や希望が話せるような場の環境を設定しております。	
	38	8		モニタリングをおこない、ガイドラインが示す支援内容に合わせた支援計画を作成し、保護者様と読み合わせ、丁寧に説明をおこなううえで同意を得て、サイン、捺印をいただいています。	
	39	8		連絡帳や来所時にご相談が中心となり職員間で共有し、送迎時に連絡帳のほか、できるだけ面談をおこない、保護者様のお悩みの解決に向けて尽力しております。	
	40	1	7	感染症の広がりが社会情勢の様子を見ながら検討しておりますが、今年度は保護者様からのご意見を踏まえ、今年度は保護者様の活動報告を掲示板などで積極的に発信し、連携を図っております。	現在は保護者様同士の交流の機会を設けておりませんが、今後実施を検討してまいります。
	41	8		こちらからもお声掛けをおこない、保護者様からのご意見や申し入れがあった場合は適切に対応しております。また担当者連絡が取りやすいように配慮し、ご意見は全職員と情報共有し、迅速な対応を心掛けております。	
	42	8		毎月事業所カレンダーを配布しています。またCOMPASS 発達支援センターの公式WebサイトやSNSで情報発信しています。	
	43	8		法人の定める個人情報保護に則って、名前の表示・状態などの情報・外での会話など漏洩がないように、細心の注意を払っております。また書類は施錠ができるキャビネットに保管しております。	
	44	8		児童独自の意思表示法などについては保護者様に教えていただき、確認しております。また、簡潔で分かりやすい声掛けや言葉だけでなく、身振りなどの視覚的支援を通して意思の疎通ができるよう心がけています。	
	45	8		昨年度は感染症のリスクも鑑みながら検討しておりますが、保護者会等の開催はできませんでした。	今後、感染症や周囲の状況を確認しつつ保護者様のご意向もご考慮し、保護者様同士や職員との交流の機会を検討してまいります。
非常時等の対応	46	8		各マニュアルは事業所入り口に設置し、いつでも閲覧できるようにしております。また、防災訓練は今年度4回実施予定です。	
	47	8		BCPを策定し、計画に合わせた訓練や非常時避難用の道具（安全ヘルメット、防災頭巾、9.9カード他）などの備品チェックをおこなっています。また定期的に非常時を想定した話し合いや避難訓練の実施をおこなっております。	
	48	8		アセスメントの際に必ず確認し、一覧表を作成して全職員で周知しています。	
	49	8		アレルギー対策を徹底した上で食事介助をおこなっています。	
	50	8		安全計画を作成し、定期的に点検をおこない、全職員が安全管理に定期的な研修をおこなっております。また、事業所には安全ヘルメットや防災頭巾等常備しております。	
	51	8		各種マニュアルは壁面に掲示し、保護者様に手に取ってご覧いただけるようにしております。また、避難訓練は年間計画を立てて定期的に実施しており、児童も参加し、訓練は連絡帳のカレンダーを通じてご紹介しております。	
	52	8		大きな事故を未然に防ぐという共通目的を意識し、小さなことでも発覚した点は記録に残し、全職員共有しています。記録はファイリングし、過去の事例と合わせていつでも確認できるようにしております。	
	53	8		事業所に虐待防止責任者を選定し、すべての職員が事業所内研修に参加し、認識を深めております。	
	54	8		利用契約書に原則として身体拘束の禁止を記載していますが、やむを得ず必要な場合は保護者様の承諾を得て支援計画に記載するようにしております。	

〇この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体でおこなった自己評価です。